

質問内容 及び 集約結果(生徒)

A:当てはまる(そう思う) B:だいたい当てはまる(だいたいそう思う)
 C:あまり当てはまらない(あまりそう思わない) D:当てはまらない(そう思わない)

No.	中段(網掛け)は昨年度最終結果 下段は今年度中間報告結果					
		A	B	A+B	C	D
1	先生たちは、わかりやすい授業の工夫をしている。	48% 71% 45%	45% 26% 46%	92% 97% 91%	5% 0% 3%	3% 3% 6%
2	先生たちは、生徒の学習意欲を高めるため、授業で体験的・作業的な学習を取り入れている。	40% 46% 45%	43% 47% 36%	83% 93% 81%	12% 4% 12%	5% 3% 7%
3	先生たちは、指導している教科について深い知識と技能を持っている。	54% 71% 61%	38% 26% 30%	92% 97% 91%	5% 0% 4%	3% 3% 4%
4	先生たちは、生徒の進路を実現するために、計画的な進路指導を行っている。	58% 51% 57%	37% 43% 31%	95% 94% 88%	2% 0% 7%	3% 6% 4%
5	先生たちは、進路に関しての情報を十分に提供している。	54% 56% 60%	42% 34% 28%	95% 90% 88%	2% 7% 6%	3% 3% 6%
6	あなたは、卒業後の進路について考えている。	63% 63% 52%	31% 26% 36%	94% 90% 88%	3% 7% 6%	3% 3% 6%
7	あなたは遅刻・早退・欠席をしないようにしている。	62% 69% 66%	26% 21% 21%	88% 90% 87%	8% 10% 7%	5% 0% 6%
8	あなたは、あいさつや正しい言葉遣いなどを心がけて生活している。	52% 54% 51%	37% 35% 37%	89% 90% 88%	5% 10% 10%	6% 0% 1%
9	学校は、使用施設の社会奉仕(地域の行事に積極的に参加するなど)の精神を養わせる努力をしている。	26% 40% 37%	52% 46% 42%	78% 85% 79%	14% 10% 10%	8% 4% 10%
10	あなたは、毎日学校に通うのが楽しいと思う。	32% 43% 39%	40% 37% 36%	72% 79% 75%	14% 13% 13%	14% 7% 12%
11	先生たちは、校内で事故が起きないよう施設や設備を整備している。	46% 60% 48%	42% 34% 43%	88% 94% 91%	8% 3% 4%	5% 3% 4%
12	あなたは、飯館校の「校訓」や「教育目標」を知っている。	31% 35% 43%	42% 32% 28%	72% 68% 72%	12% 16% 18%	15% 16% 10%
13	あなたは、学校からの「配付物」を保護者に渡している。	43% 60% 52%	42% 37% 37%	85% 97% 90%	11% 3% 7%	5% 0% 3%

質問内容 及び 集約結果(保護者)

No.		A	B	A+B	C	D
1	学校は、わかりやすい授業を実践している。	47% 53% 48%	49% 45% 48%	96% 98% 97%	2% 2% 2%	2%
2	学校は、生徒の学習意欲を高めるため、体験的・作業的学習を行っている。	51% 45% 45%	39% 48% 48%	90% 94% 93%	8% 6% 5%	2% 0% 2%
3	先生たちは、指導している教科について深い知識と技能を持っている。	49% 45% 45%	45% 50% 48%	94% 95% 93%	4% 5% 5%	2% 0% 2%
4	学校は、生徒の進路を実現するため計画的な進路指導を行っている。	47% 42% 43%	43% 53% 50%	90% 95% 93%	8% 5% 5%	2% 0% 2%
5	学校は、進路に関する情報を生徒や家庭に十分に提供している。	35% 30% 33%	51% 58% 57%	86% 88% 90%	14% 13% 10%	0% 0% 0%
6	お子さんは、卒業後の進路について考えている。	39% 38% 40%	47% 45% 48%	86% 83% 88%	12% 13% 12%	2% 5% 0%
7	お子さんが遅刻・早退・欠席をするときは必ず学校へ連絡をしている。	78% 67% 79%	20% 28% 17%	98% 95% 97%	2% 3% 3%	0% 2% 0%
8	お子さんは、あいさつや言葉遣いなど基本的なマナーが身に付いている。	39% 42% 47%	49% 44% 45%	88% 86% 91%	10% 13% 7%	2% 2% 2%
9	学校は、使用施設の清掃や社会奉仕(地域の行事に積極的に参加するなど)の精神を養わせる努力をしている。	39% 42% 34%	55% 56% 60%	94% 98% 95%	6% 2% 5%	0% 0% 0%
10	お子さんは、毎日学校に通うのが楽しいようだ。	55% 38% 50%	33% 50% 38%	88% 88% 88%	8% 8% 7%	4% 5% 5%
11	学校は、事故防止に配慮し、施設・設備の整備をしている。	43% 44% 38%	55% 53% 60%	98% 97% 98%	2% 3% 2%	0% 0% 0%
12	あなたは、飯舘校の「学校経営・運営ビジョン」を知っている。	18% 28% 22%	53% 47% 62%	71% 75% 84%	24% 22% 12%	4% 3% 3%
13	あなたは、学校からの「配付物」をお子さんから受け取っている。	49% 47% 55%	43% 48% 38%	92% 95% 93%	6% 5% 7%	2% 0% 0%

質問内容 及び 集約結果(教員)

No.		A	B	A+B	C	D
1	あなたは、授業の工夫改善に努めている。	43% 40% 70%	57% 60% 30%	100% 100% 100%	0% 0% 0%	0% 0% 0%
2	あなたは、生徒の学習意欲を高めるため、体験的・作業的学習を行っている。	43% 20% 60%	57% 80% 40%	100% 100% 100%	0% 0% 0%	0% 0% 0%
3	あなたは、指導している教科について深い知識と技能を持っている。	29% 10% 80%	71% 90% 20%	100% 100% 100%	0% 0% 0%	0% 0% 0%
4	学校は、生徒の進路を実現するために、計画的な進路指導を行っている。	43% 60% 70%	57% 30% 30%	100% 90% 100%	0% 10% 0%	0% 0% 0%
5	学校は、学年に応じた進路の情報を十分に提供している。	57% 70% 70%	43% 20% 30%	100% 90% 100%	0% 10% 0%	0% 0% 0%
6	あなたは、生徒に対して卒業後の進路を考えさせている。	43% 70% 80%	57% 30% 20%	100% 100% 100%	0% 0% 0%	0% 0% 0%
7	あなたは、生徒の動向(遅刻・早退・欠席)をしっかりと把握している。	57% 60% 80%	43% 40% 20%	100% 100% 100%	0% 0% 0%	0% 0% 0%
8	あなたは、生徒に対し、あいさつや正しい言葉遣いをするよう指導している。	71% 50% 70%	29% 50% 30%	100% 100% 100%	0% 0% 0%	0% 0% 0%
9	学校は、使用施設の清掃や社会奉仕(地域の行事に積極的に参加するなど)の精神を養わせる努力をしている。	57% 60% 80%	43% 40% 20%	100% 100% 100%	0% 0% 0%	0% 0% 0%
10	あなたは、生徒が充実した学校生活を送れるよう、様々な環境整備をしている。	14% 60% 80%	86% 40% 20%	100% 100% 100%	0% 0% 0%	0% 0% 0%
11	あなたは、事故防止に配慮し、施設・設備を点検している。	43% 50% 80%	57% 30% 20%	100% 80% 100%	0% 20% 0%	0% 0% 0%
12	あなたは、飯館校の「学校経営・運営ビジョン」を意識して指導している。	29% 80% 60%	71% 20% 40%	100% 100% 100%	0% 0% 0%	0% 0% 0%
13	あなたは、学校からの「配付物」が家庭に届くように指導している。	29% 80% 60%	71% 20% 40%	100% 100% 100%	0% 0% 0%	0% 0% 0%

分析及び今後に向けての方針（最終）

1 最終評価に向けて

福島明成高等学校の敷地内に建設した仮設校舎に学校を移転し5年目が終わろうとしている。飯舘から続けてきた習熟度別学集により少人数授業の実施は生徒の学力の定着や自信につながってきている。また部活動でも設備が整わない中、多くの生徒が活躍している。特に演劇部は創部三年目にして、東北大会最優秀賞、全国大会への出場を決めた。

来年度は飯舘村の避難指示解除が予定されており、今後の飯舘校のあり方について大きな岐路に立つことが考えられる。しかし、どのような状況になろうとも飯舘村、福島市の両地元に貢献できる生徒を育てて行くことが求められている。

2 最終評価の日程について

1月20日（金）～ 保護者用アンケートの配布、生徒用アンケートの実施

1月27日（金） 保護者用アンケートの回収

アンケート集計終了

2月 3日（金） 教員用アンケートの実施

3 在籍生徒数（1月31日現在）

1学年12名（男子 5名、女子 7名）

2学年38名（男子15名、女子23名）

3学年16名（男子 8名、女子 8名） 計66名（男子28名、女子38名）

4 最終評価実施時期

対 象	時 期
生 徒	1月20日（金）
保護者	1月20日（金）～1月24日（金）
教 員	2月 3日（金）

5 最終評価アンケート回収数及び回収率

対 象	回収数	回収率
生 徒	64/66	97%
保護者	56/66	85%
教 員	9/9	100%

I 分析と今後に向けて

- 質問項目 1 について
 - ・保護者の評価が非常に高いところが注目すべき点である。これは、少人数クラスや習熟度別授業による細やかな指導が保護者の高評価につながっている。特に今年度は学習支援員が配置されたことにより、授業におけるTTでの指導や、放課後の個別指導などより手厚い指導ができている。
- 質問項目 2 について
 - ・福島明成高校の協力もあり、現在通常に近い形で授業が進んでいる。そのため、生徒・保護者ともA・Bの評価が多い。しかし、2学年は人数が多く、手狭な状況もあるため、中間よりは上昇したが昨年度よりは下がってしまったと思われる。また、家庭科の教員が2学期末より病休に入り、十分な実習等ができていない点も昨年に比べ良い評価が大きく下がってしまった原因のひとつに考えられる。
- 質問項目 3 について
 - ・保護者のA・Bの評価が回復してきた。9割以上の保護者が教員に深い知識と技能があると考えている。また、昨年度に引き続き今回も生徒のA・Bの評価が多かった。この評価を、質問項目1へつなげていき、「分かりやすい授業」の更なる充実に向けて取り組んでいる。
- 質問項目 4、5、6 について
 - ・進路に関する内容である。就職、進学に関する面接指導等を受けた直後の3学年では評価が高い。1、2年生はインターンシップ等の進路関連行事を従来どおり実施したもの、依然として進路を考えられない、関心すら持てない生徒が複数おり、次年度へ向けた課題である。
3学期は進路行事が多く、また2学年の生徒も進路について本気になって考えるようになったため、これらの項目が全体的に向上したと考えられる。
- 質問項目 7 について
 - ・遅刻や欠席が常習化している生徒は、遅刻、欠席が進路に与える影響などを軽視している姿が見られる。特に多い生徒には適宜注意を行っているが、あまり変化が見られない生徒もいる。今後は保護者と協力し改善を図りたい。
また、各学年とも保護者からの連絡がきちんと入るため、欠席等の把握が容易である。この状況を維持し、今後も保護者の協力のもと指導していきたい。
- 質問項目 8 について
 - ・挨拶は生徒一人ひとりがきちんと返してくれている。しかし、言葉遣いや服装についてはまだまだ改善を図れる部分がある。特に服装においては、制服の正しい着こなしができていない生徒が散見され、着崩したり洗濯やクリーニングができていない生徒もいる。服装の正しい着こなしとともに、清潔感のある服装を心がけられるように生徒一人ひとりの進路と結びつけながら、言葉遣い、服装の意味を教えることで一層の改善につなげたい。

○ 質問項目 9 について

- ・ 今年度も 2 学年の松川第 1、第 2 仮設住宅での奉仕活動を実施した。文化祭については飯館校単独での開催であった。特に今年度の村文化祭へのボランティアは、村での開催であったため、放射線量のこともあり、参加を見送った。その分飯館村との関わりが減っている状況である。しかし、南相馬地区や飯館村等の地域に関する講演会など通して地域に対する関心を持てるように取り組んでおり、地域社会に関心を持ち、地域に根ざした人材を育てるべく努力している。

○ 質問項目 10 について

- ・ 生徒の A・B の評価の合計が 75 % にとどまった。上級学年になるにつれ低い評価が増加する傾向にある。人数が少ないため、先生方から目をかけてもらえ、習熟度に応じた授業展開をしているので学校に通うことが楽しいという生徒が多い。反面、人間関係が一度崩れると対人関係の構築が苦手な生徒にとっては、なかなか関係を修復できない生徒もいる。これらの状況から A・B 評価が少ない現状にあると考える。

○ 質問項目 11 について

- ・ 保護者の評価は非常に高いが生徒の評価は低めである。毎日生活する生徒の視点からすると、昨年度からの生徒数の増加により、施設設備の不足や教室が狭く感じられるようになったことに起因すると考えられる。また、先日は雨漏りも発生しており、このような事も生徒の評価が低い原因と考えられる。今後も建物の老朽化も考慮し、生徒の安全を第一に施設の管理・運営を行っていきたい。

○ 質問項目 12 について

- ・ 生徒、保護者ともに最も評価の低い項目である。特に前述のとおり福島出身の生徒が増加したため、飯館校をよく知らなかった保護者が増えてきたことも一因だと思われる。学校側も折に触れ、生徒、保護者に訴えていきたい。

○ 質問項目 13 について

- ・ 保護者からの評価が高いものの、保護者からのアンケートの回収率が 90 % を切ってしまった。未提出者を学年別に見てみると、1 学年が 12 名中 1 名、2 学年が 38 名中 8 名、3 学年が 12 名中 1 名であった。昨年度から 2 学年の生徒の提出率の低さが課題となっており、重点的な指導を心がけた。2 学年は次年度、進路に関する文書など大切な書類を提出する事が多くなるので、今後も継続的に指導を続けたい。

平成28年度 重点目標・具体的実践事項

1 教務部

◎重点目標 『わかる授業の実践に努め、学力の向上を図る』

努力目標	具体的実践事項	最終評価
「わかる授業」の実践と基礎学力の定着を図る。	<p>① 生徒の学習到達度を把握し、生徒の実態に応じた指導法を工夫する。</p> <p>② 基礎学力の定着を図るために反復学習の一層の徹底を図る。</p>	A
生徒一人ひとりの個に応じた指導を研究し、実践する。	<p>① 習熟度別授業やコース別授業による少人数授業の利点を生かし、生徒一人ひとりの力を伸ばす指導を工夫する。</p> <p>② 生徒の進路希望を的確に把握することで必要な学習を提供できる環境を整える。</p>	B
体験的学習を積極的に取り入れて、生徒の活動意欲を高める。	<p>① 実技や作業的内容を積極的に取り入れ、達成感を得る機会を増やすことで、生徒の授業に取り組む意欲を高める。</p> <p>② 生徒の授業への参加姿勢や態度を積極的に評価に取り入れる。</p>	A
課題と改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・わかる授業の実践と基礎学力の定着に関して、今年度は学習支援員の配置により例年以上の成果が得られた。次年度に向け効果的な指導の工夫と改善に一層努めたい。 ・生徒数の多い2学年については指導の効果が上がらない生徒も多く、やや2極化している。いよいよ最終学年となることから一層の自覚を促し指導していきたい。 ・授業中における生徒の積極的な活動を引き出すための取り組みがなされており、観点別評価として評価へ反映させていく。来年度も生徒の学習意欲を高める授業や評価を実践していく。 	

2 進路指導部

◎重点目標 『希望進路実現のため、社会性と自律心を育てる』

努力目標	具体的実践事項	最終評価
1 3年間を見通した進路指導を実施し、正しい職業観を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生…生徒が、自己の適性を理解し、自分の進路を考える場面を設定する。また、自己の適性に合ったコース選択ができるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・上級学校見学会を実施する。(2学期) ・進路ガイダンスを実施する。(3学期) ・卒業生による講演を実施する。(3学期) 	A
2 進路講演会や各種見学会をとおして、自己および社会への理解を深めさせ、進路意識の高揚を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2年生…勤労体験や各種講演等をとおして、進路意識の高揚を図り、自己の進路の方向を決定させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップを実施する。(2学期) ・進路講演会を実施する。(2学期) ・進路ガイダンスを実施する。(3学期) ・卒業生による講演を実施する。(3学期) 	B
3 個別指導をとおして、各自の適性に応じた進路実現を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ○全体 <ul style="list-style-type: none"> ・調査、面談により希望の動向および必要な指導内容を把握する。 ○ 1年生 <ul style="list-style-type: none"> ・面接時間を利用し、生徒理解に努める。 ○ 2年生 <ul style="list-style-type: none"> ・面接時間を利用し、生徒理解・進路希望の把握に努める。 ○ 3年生 <ul style="list-style-type: none"> ・個人面談を実施し、生徒の希望を把握する。 ・生徒の進路希望に応じた個別指導の充実を図る。 ・全職員による、進路実現を支援する体制を整える。 	A
課題と改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・3学年への進路指導は、全職員が共通理解、課題意識、当事者意識を持って指導することができた。その結果、全生徒が、年内に進路内定を得ることができた。年度当初の実態を考えると、成果をあげたと言える。 ・進路行事は計画通り実施されたが、講話やインターンシップ等の行事で、従来に比べて意識の低さが目につく場合があり、実態に即した、更なる指導が課題である。 	

3 生徒指導部

◎重点目標 『個に応じた指導を通して自律の精神を育む』

努力目標	具体的実践事項	最終評価
生徒が自ら課題を発見し、実践していくよう、教職員が周囲とも連携しながら、生徒の生活環境を整える。	<ul style="list-style-type: none"> ① 日常のあらゆる場面を通して生徒と積極的にコミュニケーションをとり、信頼関係の構築に努める。 ② 学期ごとの面接週間等を活用し生徒理解を図り、個別指導を充実させる。 ③ 学校カウンセラーを活用し生徒理解を深め、担任を中心として教職員と学校カウンセラーが協調しながら生徒の問題解決を援助していく。必要に応じて外部機関との連携を図る。 ④ 家庭との連絡を密に取り、教育活動を理解してもらうことに努め、保護者との信頼関係・協力関係を深化する。 	A
社会人として必要な態度やマナー（挨拶・言葉遣い・礼儀作法等）の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ① 全校での服装・頭髪指導を月一回程度のペースで実施する。また、検査の時だけではなく、日常的に全教職員で指導を行う。 ② 登下校指導、校外指導を生徒の実態を考慮しながら定期的に実施する。 ③ 自転車の交通安全マナー教室を実施し事故防止に努める。 ④ 防犯教室、薬物乱用教室等を実施し遵法意識を高める。 	B
生徒の主体的な活動を援助し、生徒会やホームルーム活動の活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ① LHRなどの活動の内容を、生徒の自主性を育成できるものとなるよう配慮する。 ② 対面式、校内球技大会、オープンキャンパス、紅葉祭等、生徒会活動の場を確保し、生徒主体の企画・運営を促す。 ③ 部活動への積極的な参加と、主体的な活動を促す。 	B
課題と改善の方向性	3年生の成長が著しく、最上級生の自覚を持って下級生の範となる生活態度を実践できた。一方で、下級生の一部は、主体性に欠け生活全般において落ち着きがないなど、次年度に向けて生活態度に不安要素が多々ある。よって次年度は生徒一人一人自覚を促すべく、あらゆる場所・あらゆる場面において適切な指導を粘り強く行う必要がある。具体的には、提出物等の期限の厳守、遅刻早退の減少、適切な着座姿勢の維持、話し手の話をしっかりと聞く習慣を身につかせるなど重点項目を決めて、学校全体で教職員の共通認識のもとに指導にあたることが重要であると考える。	

4 保健厚生部

◎重点目標 『自己の体調を理解し、自ら健康管理ができる実践力を身に付けさせる。』

努力目標	具体的実践事項	最終評価
1 健康についての知識を身につけさせる。	① 基本的な生活習慣を身につけ、自らの体調の変化に気づかせる。 ② 食生活の乱れから、肥満傾向・う歯の疾患等につながることを理解させ、栄養教室や他教科と連携しながら食育教育を充実させる。 ③ 保健室、担任との連携で、健康・保健に関する情報共有し、生徒の変化にすぐに対応できるようする。	B
2 適切に健康管理ができる実践力を育てる。	① 自己の体調の変化に気づき、適切な処置について保健の授業や出前教室を活用していく。 ② 毎月「保健だより」を発行することにより、健康への興味・関心を高める。	A
3 衛生管理の徹底を図る。	① 校舎内外の美化活動をとおして、衛生管理に気をつけ、学習に集中できる環境作りを行う。 ② 学校薬剤師との連携により、学校の学習環境を整備する。 ③ 保健環境委員会の役割として、教室の湿度を保ち、教室内の適切な温度環境を整えていく。	A
課題と改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・「食」への興味関心が低く、特に朝食を食べない（食べられない）生徒がいることから、食生活に関する内容を「保健だより」で紹介したり、栄養教室などの講義を開催し、意識の高揚に努めた。 ・2月に入り、インフルエンザ感染者が増えてしまった。自分の体調を管理するための知識や理解する力を身につける必要があると感じたまた、普段から生徒の様子を注意深く観察していきたい。 ・全体として美化活動には力を入れてきたが、ペットボトルの置きっぱなしやトイレの使い方に問題があつたため、次年度以降は徹底するために生徒への喚起と巡回をしていきたい。 	

5 図書部

◎重点目標『生徒の読書意欲を喚起する』

努力目標	具体的実践事項	最終評価
図書施設の充実	<ul style="list-style-type: none">図書委員に本の貸し出し業務をさせ、全校生に読書意欲の喚起を図る。年間で貸し出し冊数が最も多かった生徒に、賞を与えて、意欲を持たせる。その結果、貸し出し数が増加した。	A
村との連携	<ul style="list-style-type: none">読書に関係した村主催のコンクールに、積極的に参加し、複数の生徒が入賞した。こあら号が提供する書籍も図書室で管理し、同様に貸出を行う。	A
課題と改善の方向性	図書館の貸し出し業務は順調に行うことができた。貸し出しが数も増加傾向にあり、各種コンクールで入賞者を複数輩出することができた。今後とも、この傾向を継続していきたい。 こあら号についても、次回巡回日を知らせるなどして、活発な活動展開を行っていきたい。	